

インプラントを考えるタイミング

インプラントによる治療は、次の場合に可能です。

■ 病気で歯を失ったとき

年齢にかかわらず、虫歯・歯周病や歯根の炎症などが原因で歯を失うことがあります。インプラントは、天然歯とほとんど変わらない機能と見栄えを回復する治療方法です。

■ 事故によって歯を失ったとき

事故で歯を失うことがあっても、歯の状態によって、インプラント治療で以前の見た目と機能を取り戻すことができます。

■ 生まれつき歯が足りないとき

先天的に歯がないことによって隙間が生じることがあります。インプラントは、不足している歯を補うことができます。

☆当院ではインプラント治療は最後の手段と考えています。

たとえインプラントがご自分の歯に近いとはいえ、ご自分の歯に勝ることは無いからです。

まずはご病気の歯を何とかもたせるように治療を行いますが、不幸にして歯を失われた場合でも、最初は保険診療で可能なブリッジや入れ歯を検討します。

歯は1本でも残すことが望ましいですが、残すことで周囲に悪影響を及ぼすような状態の歯をずっと残しておくことは不適切な場合もあります。

インプラントは、すべての患者さんに適用できる治療方法ではありません。

インプラント治療を成功させるには、全身の健康状態、口腔内の衛生状態がよく、十分な骨の質と量が必要です。

インプラント治療が適しているかを判断できるのは、歯科医師です。また、より良い治療結果を実現し、インプラントを長く保つためには、歯科医師による綿密な治療計画が必要不可欠です。

事前に費用や術後のメンテナンスなどの説明を受けて、よく理解した上でインプラント治療を開始することをお勧めします。

詳細については、歯科医師にご相談ください。

 **straumann**

GET BACK YOUR NATURAL SMILE

インプラントで
豊かなライフスタイルを

NEW QUALITY OF LIFE WITH DENTAL IMPLANTS

☆インプラント手術を選択される方には、術前のCT検査を含めた診断を行っております。また、インプラント治療前には十分に説明を行い、リスクに関してもオープンに情報を提供いたします。場合によってはインプラントができないこともありますのでご了承下さい

☆インプラント手術に際して、インプラント体は患者さんごとに注文し、シリアルナンバーを控えておりますので、皆様に使用するインプラントは世界に一個だけで一回きりのものです。また、滅菌された機器、器材及び手術着を用いておりますので、感染対策も安心されてください。

☆当院では高価なインプラント治療を選択された方の後悔の無い様に 術後のインプラントメンテナンスに力を入れています。

※インプラント手術を担当する歯科医師は、国立大学医学部口腔外科（山口大学医学部附属病院）出身で、また麻酔科蘇生科にて気管内挿管全身麻酔研修、インプラント専門医研修を修了しております。外科手術にご不安がある方も、どうぞご安心ください。

 **もろとみ歯科**
MOROTOMI DENTAL CLINIC